



TEFLプログラムの概要

英語教授法海外研修の必要性

- 小学校英語の教科化
- 英語教員に求められる語学力： TOEFL iBT 79以上
- 高等学校卒業段階での英語力： 英検2級 → 準1級
- 国際バカロレア認定校拡大施策の進行



教員全体のレベルアップによる質保証とともに
全校種における英語教育の高度化が不可欠

TEFLプログラムの概要

- TEFL=Teaching English as a Foreign Language は、カナダ・ヴィクトリア大学が提供する英語教育指導者資格認定プログラム
- カリキュラムは、ヴィクトリア大学での約3週間の研修に加え、帰国後、70時間のオンライン学習で構成される
- このカリキュラムをすべて修了すれば、ヴィクトリア大学から国際的通用性を有する Certificate 及び Diploma を授与される
- 中学校・高等学校の英語教員の方又は小学校教員で英検準1級相当の英語運用能力を有すること

TEFLプログラムの実施状況

実施状況：

【2012年度】OKU	7月20日～8月13日	現職教員6名	院生等7名
【2013年度】OKU	8月6日～8月23日	現職教員5名	院生等8名
【2014年度】HATO	8月5日～8月22日	現職教員7名	院生等10名
【2015年度】OKU	8月4日～8月21日	現職教員5名	院生等5名
【2016年度】OKU	8月1日～8月19日	現職教員4名	院生等8名

主要カリキュラム：

- 1)英語教授法の理論と応用
- 2)効果的指導法の理論と実践
- 3)授業に役立つ教授法のワークショップ
- 4)模擬授業
- 5)現地の学校視察
- 6)帰国後，70時間のオンライン学習

TEFLプログラムの成果

- **現地3週間:** 参加者の高い向上心が相互に大きな刺激, 四技能統合の意義を様々な活動を通して体感, 指導案を考える新しい視点を確認, 体験の重要性を再確認
- **70時間のオンライン学習:** 日々の授業に関連のある課題による新しい発見, ビクトリア講師や他の参加者との英語でのやりとり
→ 前向きなコメント, 情報交換として有益, 英語を手段とする機会の確保
- **高校教員(イン・サービス), 院生(プレ・サービス)としての効果:** お互いが現地で模擬授業等を通して, 質疑応答・アドバイスを受けることで, 現場の指導の在り方の再確認ができ, 帰国後, 各附属への院生の関わりができ, 現在も継続。
また, 現地で連日, 夕刻に行われた自主勉強会が, 両者にとって学びの場となり, 英語教師としてのビリーフの確立にも繋がった。